

学校教育
目標目指している
生徒の姿自ら考え 創造的に 追究する人
心身を鍛え たくましい 実行力のある人
思いやりの心をもつ人自考創造(じこうそうぞう)
自鍛実行(じたんじっこう)
自他仁恕(じたじんじょ)**11月4日～12月2日は後期自他仁恕(人権教育)月間です。**

中川中学校では、現在、後期自他仁恕(人権教育)月間です。4日は人権集会を行い、校長先生のお話をお聞きしました。是非「恕」をお互いに考える月間にしていきたいと思います。

【校長先生のお話】

今日から後期自他仁恕月間がスタートします。秋が深まるこの季節、この大切な期間に、私たちは「人権」について深く、そして真剣に考えていきたいと思います。人権とは、繰り返しになりますが、皆さんがこの世に生まれた瞬間から持っている、「誰もが自分らしく、幸せに生きていくための権利」です。この大切な権利が、誰一人として傷つけられることなく守られるために、私たち一人ひとりが何をすべきか、今日はその原点について話をします。

さて、本校が教育活動の核として最も大切にしている言葉があります。それは、このスライドにある「恕(じょ)」という漢字です。前期の月間でも話しましたが、「恕」とは、「思いやり」、「他人の身になって考える心」のことです。約2500年前の中国の偉大な思想家、孔子は、弟子から「人間として一生涯、貫き通すべき大切なことは何か」と問われたとき、「それは『恕』である」と答えました。そして、その内容をこう説明しています。「自分が人からされたくないことは、他人に対して決して行わない」。私たちが目指す、誰もが大切にされる学校。その土台にあるのが、この「恕」の精神です。

さて、差別はなぜ生まれるのでしょうか。もちろん、明確な悪意を持って人を傷つける場合もあります。しかし、私たちが今日特に意識したいのは、差別や偏見の、もっと根深い原因です。それは、この言葉です。「アンコンシャス・バイアス」。日本語では、「無意識の思い込み」と訳されます。これは、私たちがこれまでの経験や社会の常識から、知らず知らずのうちに頭の中に作り上げてしまった、人や物事に対する自動的な判断の枠組みのことです。私たちは、この無意識のフィルターを通して、世界を見てしまっていることがあります。

身近なバイアスの例を、まず「他者に対する思い込み」としてまとめます。例えば、「女子だから細かい作業が得意」「制服がだらしないから生活態度も悪い」というように、表面的な情報や性別だけで、その人のすべてを決めてしまうものです。これが、仲間外れや、相手の可能性を勝手に限定してしまう差別につながります。皆さんがもし、そう決めつけられたらどう感じるか。「恕」の心が、この他者への思い込みに気づかせてくれます。

そして、もう一つ大切なバイアスがあります。それは、「自分自身に対する思い込み」です。皆さんの心の中で、「どうせ自分には無理だ」「自分なんか、あの人には敵わない」と、挑戦する前から自分の可能性を否定する声が聞こえることはありませんか？過去の失敗や、周りの人の評価、あるいは社会の固定観念を聞きすぎた結果、「自分はリーダーにはなれない」「私は理系科目は得意じゃない」と、自分の能力を過小評価してしまうのです。これも、立派なアンコンシャス・バイアスです。

他者をありのままに見るのと同じくらい、自分自身をありのままに、公平に見つめることが大切です。他者の価値を否定しないように、自分の価値も否定しないこと。これも「恕」の精神の、大切な実践の一つです。この「自分を大切に作る心」こそが、皆さんの自己肯定感を高めます。自己肯定感が高まれば、心に余裕が生まれ、自然と他者にも優しくなれます。

私たちの人権教育の学びの究極のゴールは、「誰もが安心して、自分らしくいられる居場所」をつくることです。それは、他者への「恕」を実践するだけでなく、自分自身への「恕」、つまり「自分自身を大切にし、尊重する」ことと表裏一体です。自分を大切にできる人こそが、心から仲間を大切にできる人です。

この月間では、特に「仲間も自分も大切にすること」を意識しながら生活してみましょう。「恕」の心を持って、アンコンシャス・バイアスに気づき、一人ひとりの個性や違いを認め合う。そして、「自分はある」と信じて、皆さんが持つ無限の可能性を否定しないこと。「恕の心で、すべての人を大切にする」私たちの中学校を、皆さん全員で作り上げていきましょう。

11月6日に参観日がありました。

11月6日に参観日が行われました。多くの保護者の皆さまにご来校いただきました。ありがとうございました。今回は、2、3時間目にフリーラーニング（探究学習）を行いました。自分の課題解決のために、それぞれのテーマ、会場で探究活動を行いました。バスケットに取り組む生徒、絵を描く生徒、料理を作る生徒、ギターを弾く生徒、燻製を作る生徒など様々ですが、生徒の探究の様子を保護者の方々にも見ていただくことができました。



た。村内外のサポーターの方も多くご来校いただき、生徒と大人と一緒に自分の好きなこと、やりたいことに挑戦する時間を過ごしました。

また、午後は、PTA 講演会を行いました。講師に城村義人さんをお招きして『答えはAでも、Bでも、Cでも大丈夫！～「答え」が「正解」となる親子のあり方、考え方～』と題して講演をお聞きしました。相手の世界を創造する、自分の精一杯を尽くす、生き方を考えるなどのお話をお聞きすることができました。

生徒会役員選挙 候補者の教室訪問を行いました。

今年度の牧ヶ原祭が終わり早1ヶ月。3年生から2年生へ生徒会のバトンを受け渡す時期となりました。2年生から会長、副会長の候補者が決まり、



候補者が各教室を訪問して演説を行いました。推薦責任者のスピーチの後、候補者が自分の目指す生徒会について思いを語り、質問や意見に答弁する姿がありました。11月17日に全校で立会演説会が行われます。その後投票を行い、18日の朝、選挙結果の発表となります。どの候補者も来年度の生徒会に向けた願いと思いを堂々と語る姿はとても頼もしい限りです。



セイコーエプソンさんより「環境教育ノート」をいただきました。

セイコーエプソン開発の乾式オフィス製紙機「ペーパーラボ」作った再生紙による「環境教育ノート」を全校生徒分寄贈していただきました。再生に水を使わない環境に配慮した技術として注目をされているそうです。大切に使用させていただきます。ありがとうございました。

10月21日より新たに先生が加わりました。

10月より、伴野 理加先生 が学習支援員として加わりました。全クラスに関わって学習の支援をしてくださいます。これからどうぞよろしくお願いします。

